

# 雪と氷で地球環境探る

松本秀峰中等教育学校

## 信大の鈴木所長が講演

松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校の保護者や生徒、教員でつく「秀峰アカデミア」を

「秀峰会PST」は開き、環境問題を考える十日、同校で学習会

信州大山岳科学総合

研究所の鈴木啓助所長（五）が「雪と氷から考える地球環境」をテーマに講演。地球温暖化の影響で気温が上昇すると海水などの蒸発量が多くなり、北海道や北信越など気温の低い地域では降雪量が多くなると語った。

氷の中に含まれる硝

酸イオンや硫酸イオンの濃度を見れば、大気の汚れが分かることも説明し、「自然を大事にするために、自然のことを大好きになっほしい」と呼び掛けた。生徒ら約三百人が参加し、真剣な表情でメモを取っていた。

（勝股大輝）